

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもや地域の実態に合った教育課程を編成するとともに、自ら追求・探究できる課題の設定や活動・交流を位置付けるなどの授業改善をする。 ●ICT教育を推進し、子どもの主体的な学び、社会の変化に柔軟に対応できる教育活動の充実に努める。 	A	<p>学校運営協議会を核とした地域の力を借りながら、アフターコロナの視点、「ぎふMIRAI'S」の視点を組み込んだ教育課程を、再編成・実施することができた。</p> <p>教員が日常的に「こたん」を活用できるようになり、よりきめ細やかな教育を行うことができた。また、ロイロノートを積極的に授業で活用し、「学び合い」等を広げることができた。</p>	<p>一斉授業が少なくなり、「学び合い」の中で、お互いの考えを聴きあったり、問題が分からない仲間に、分かりやすいよう工夫して説明したりするなど、新しい授業スタイルを参観できた。タブレット端末を使って、自分で調べ学習をしたり、ノートを提出したりするなど、子どもたちのICT機器活用能力が、更に高まっていた。時代の変化に対応している様子が見られる。</p>	<p>今年度実践した「ぎふMIRAI'S」の実践を活かし、子どもや地域の実態に応じた教育課程を再編成するとともに、「学び合い」を軸にし、自ら追求・探究できる課題の設定や活動・交流を位置付けるなどの授業改善を進める。</p> <p>ICT機器を活用して、子どもが主体的な学び、社会の変化に柔軟に対応できる教育活動を充実していく。</p>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●学校運営協議会を核とし、地域の人的・物的教育資源の積極的な活用により、地域に根ざした心身ともに健康な子どもを育む活動を充実する。 ●島中学校区小中一貫教育を軸とした小中一貫教育を推進できるよう「生活・学び・心」の観点で子どもを育成する。 	A	<p>学校運営協議会を核とし、地域の人的・物的教育資源を積極的に活用することで、地域に根ざした教育活動を行うことができた。子どもたちも、多くのことを地域から学ぶことができた。</p> <p>島中学校を中心とし、地域の小学校で連携しながら「生活・学び・心」「学び合い」の観点から小中一貫教育を推進することができた。特に「学び合い」については、組織的に推進できた。</p>	<p>子どもたちの素晴らしい絵画を、公民館で展示することで、地域の方にも観てもらうことができた。これまでも「城西見守り隊」や「城西青少年育成市民会議」「城西自治連合会」等で城西小を応援してきたが、今後も活用してほしい。</p> <p>授業参観で観た1年生から6年生の姿が、だんだん成長していること、不登校傾向の児童も、少なからずいること、こういった姿が中学校にもつながるということが分かった。</p>	<p>次年度も、学校運営協議会を核とし、地域の人的・物的教育資源を更に発掘するとともに、積極的に活用することで、地域に根ざした心身ともに健康な子どもの育成をめざす。</p> <p>次年度も、「生活・学び・心」「学び合い」の観点で、組織を生かしながら、小中一貫教育を推進する。</p>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●教職員のコミュニケーションの活性化と、教職員研修の充実と主体的な実践により、働きがいを高める。 ●高い同僚性を持ち、子どもたちのしあわせのために、組織的に動くことができる職員集団に高める。 	B	<p>教職員のコミュニケーションの活性化を図り、相談にのったり、授業や指導の良さをフィードバックしたり、研修を行うことで、多少なりとも働きがいが高まった。</p> <p>組織的に動くことができる職員集団作りをめざし、働きかけを行っていった。</p>	<p>表情豊かに授業をする先生のクラスでは、子どもたちが一生懸命、授業に向かっていった。また、廊下等に掲示された子どもの絵画が、発想豊かで素敵な作品が多かった。</p> <p>子どもたちのために、一生懸命頑張ってくれている教員が多く、昨年度よりも落ち着いた学校になっている。</p>	<p>子どもだけでなく、教職員の良さや成長が日常的に話される職員室になるよう、教職員のコミュニケーションの活性化や、教職員研修の充実を図る。</p> <p>子どもたちのしあわせのために、折り合いをつけ組織的に動くことができる職員集団に高まるよう、働きかけを継続していく。</p>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ●地域・諸機関と協力しながら様々な災害や非常事態を想定した安全指導を通して、子どもが思考力・判断力を働かせながら自分や周りの命・健康を守ることができるようにする。 ●様々な緊急事態・災害時を想定して「命を守る訓練」を計画・実践し、子どもたちに「自分の命は自分で守る」態度を育てる。 	A	<p>様々な災害や火災を想定した「命を守る訓練」を実施したり、機をとらえて安全指導を行うことで、子どもたちに、思考力・判断力を働かせながら自分や周りの命・健康を守ろうとする態度が育ってきた。</p> <p>城西自治会連合会が主催する「城西校区防災訓練」に参加し、地域の方々と協力して防災について考えたり、訓練を行うことができた。</p>	<p>見守り隊やボランティアが子どもたちの登下校を見守っている。子どもたちからパワーをもらって嬉しい。しかし下校時ふざけたり、道草をして危ない姿があった。学校や家庭でも、しっかり指導して欲しい。</p> <p>「城西校区防災訓練」に、多くの児童や保護者が参加し、地域と一緒に避難経路確や防災訓練を行うことができ、よかった。今後も、授業として参加をお願いしたい。</p>	<p>安全教育や「命を守る訓練」については、次年度も、内容や方法を見直ししながら、実施していく。</p> <p>下校の仕方や帰宅後の地域での過ごし方については、保護者や地域と連携しながら、引き続き指導していく。</p> <p>「城西校区防災訓練」は、次年度も授業として参加する。</p>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ●安全・安心に生活できるよう、校舎内外、教室環境を整備するとともに、施設設備を有効に活用する。 ●年間の教育活動を見通し、財務や納入金の計画的かつ適切な運用をする。 	A	<p>安全・安心に生活できるよう、校舎内外の環境を整備することができた。特に、地震による備品の転倒防止対策を進めることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、行事や学習方法が変更になったケースもあったが、財務や納入金について、計画的かつ適切に運用することができた。</p>	<p>子どもがよく使用する図書室等の書架の転倒防止対策が進み、地震時の安全・安心が広がってよかった。</p> <p>財務や納入金について、計画的かつ適切な運用がされていた。</p>	<p>さらに備品の転倒防止対策を進めるとともに、安全・安心に生活できるよう、教職員がチェックする安全点検表を活用して、環境整備を行っていく。</p> <p>決められたルールに従って、契約や消耗品等の選定、支出の手続き等が行われているか、確実に確認しながら、財務や納入金について、計画的かつ適切な運用を行っていく。</p>